

◆ 注意欠陥・多動性障害 ADHD

集中できる環境と業務の習慣化がカギ

注意欠陥・多動性障害(ADHD)は落ち着きの無さや不注意などがよく見られます。集中が続きにくい、業務を覚えるのが苦手という特徴があります。気が散るものを遠ざけ、雑音を減らすなど環境を整えれば集中しやすくなります。また、仕事は1つずつ少ない量から始め、どの順番で進めるのか指示することが業務習得の助けになるでしょう。

必要な配慮 concern

業務量は少なめから

一度に大量の業務指示を受けるとは苦手でも、少ない量を1つずつ、時間を決めてこなすのが得意な方が多くいます。

進捗報告をこまめに

スケジュール管理の苦手な方が多いですが、進捗をこまめに確認することで、期限がある仕事も任せられます。

ゆっくり待つ

本人は一生懸命でも仕事が遅くなることもあります。ここで叱らず理解を待つ事がその後の成長につながります。

◆ 知的障害(軽度) INTELLECTUAL DISORDER

発達障害と合併することもある

知的障害と発達障害は異なります。軽度の知的障害の場合、簡単な金銭管理・読み書きができて、日常生活は問題なく送れるケースがほとんどですが、働く上では周囲の適切なサポートが必要です。相談したくてもできない方も多くいるので、日報や定期面談で「報連相」しやすい環境を整えることは欠かせないでしょう。仕事を覚えるまで余裕をもって待つように心がけましょう。自閉症スペクトラムや注意欠陥・多動性障害(ADHD)と知的障害が合併している例も少なくありません。

必要な配慮 concern

分かりやすい指示

難しい会話は得意ではありません。複雑な表現は避けて、明確で分かりやすく指示すれば理解しやすいでしょう。

あせらせない

もどかしく感じて、あせらせず覚えてもらう工夫をしましょう。一度身に付けた事は比較的よく憶えています。

時間管理をサポート

スケジュール管理の苦手な方が多いです。納期に余裕のある仕事から慣れてもらうことも重要なポイントのひとつです。